

あかびらの 今と昔

今と昔のあかびらでは、どのように変化をしているのでしょうか。ここでは、昔の懐かしいイベントや風景、建物などを紹介していきます。

あかびら火まつり



赤平最大のイベント、第46回あかびら火まつりが7月15日、16日の2日間、赤平コミュニティ広場で行われました。今月号では、あかびら火まつりの歴史を振り返りたいと思います。

火まつりの前身となる第1回あかびら市民まつりが昭和47年（1972年）7月14日に開催され、当時の会場は、みなさんの記憶にもまだ新しいと思います。赤平小学校でした。ちなみに第15回から、あかびら火まつりという名称を変更しています。

火まつりといえば「火文字焼き」と「タイマツリレー」がまず頭に浮かんでくるのではないのでしょうか。この二つは第1回から現在まで、途切れることなく行っています。

頭には浮かんでも、どのような理由で行われているのか、わか



ない方も多いのでは。私自身わからないまま参加していたので調べてみました。

当時、市内の炭鉱が相次いで閉山し、山の灯がどんどん消えて行く中、「なんとかこの山の灯だけは消さないでほしい」と若者たちが京都の「大文字焼き」をヒントに始めたのが「火文字焼き」の始まりです。火文字を旧赤間炭鉱ズリ山に描き、赤平市内3コースから、タイマツリを持って走る（タイマツリレー）、人々が赤平再開発の願いを込めて一つの大きな炎として集火し、火文字に点火する。これがこの二つの行事を行う理由になります。

赤平市民、たくさんの想いが詰まった祭りが「あかびら火まつり」です。私たちもこの想いを次の世代へしっかりと繋いでいかなければなりません。



「あかびら気になる商店街動画。鷹觜がご案内します。」

地域おこし協力隊1年目の鷹觜（たかはし）です。赤平に引っ越してきて4カ月が過ぎ、行く先々で「赤平に慣れたかい？」と皆さんから暖かいお声がけをいただいています。

私は商店街振興にかかわる情報発信の仕事をしています。7月からはインターネットを介して、商店街の最新情報と「あかびら気になる商店街動画」と題した映像を作成、配信しています。第1回目は「喫茶マンデリン」さんを取り上げています。

これからも随時配信していきますので皆さんからの情報もいただければ幸いです。インターネットのアドレスは…
<https://www.akabirasyoutengai.com/>です。ぜひご覧くださいませ。

地域おこし協力隊通信

